

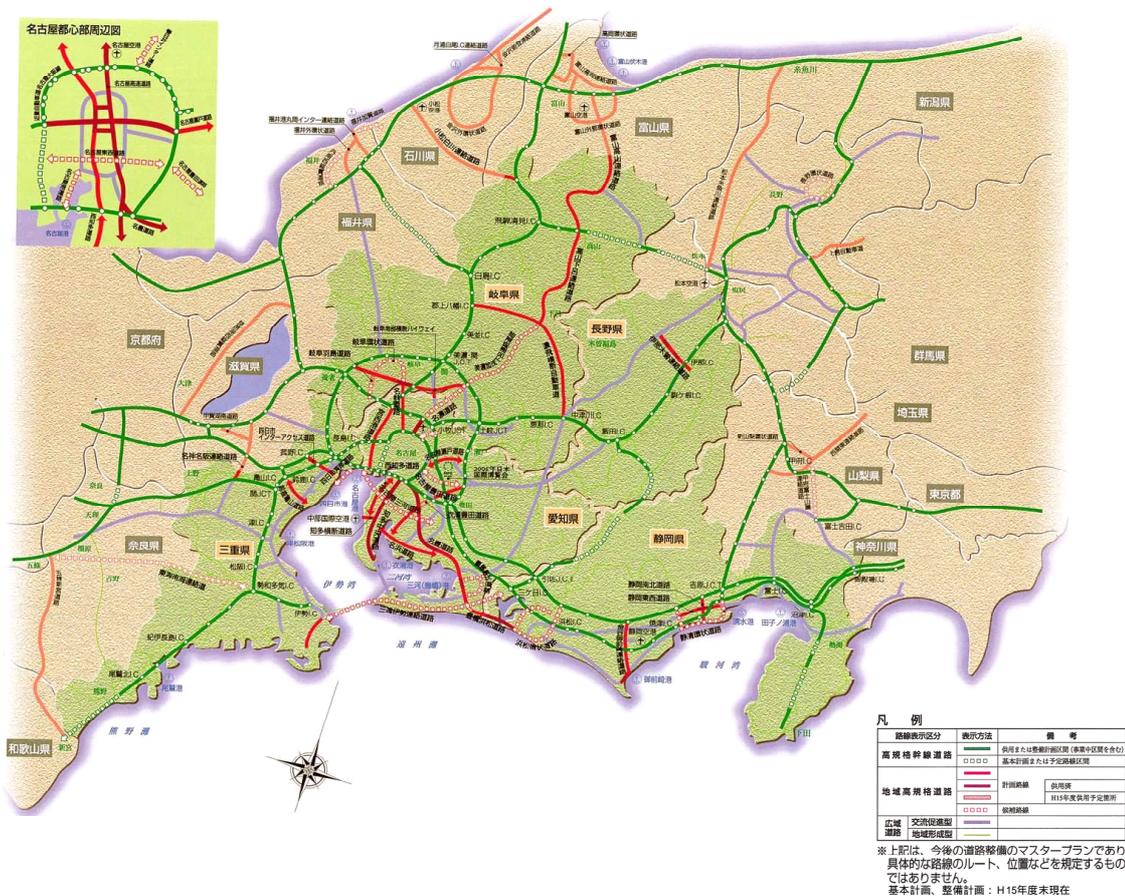
< 中部地方の地理的特性 >

「日本のまんなか」であり、21世紀の交流を支える交通ネットワークの拠点地域として、国際交流基盤の整備と国土の東西・南北軸および環状軸の機能強化を図るとともに、代替性を高めることが重要である。

我が国の交通ネットワークの拠点地域である中部地方

全国各地を結ぶ主要な交通網が集中している中部地方は、我が国の交通ネットワークの根幹を支えています。

道路ネットワーク図



東名・名神高速道路



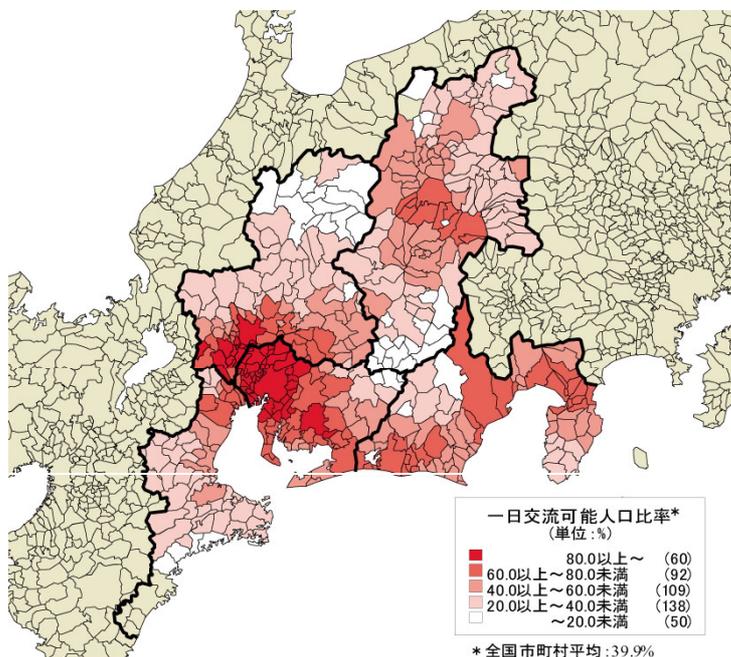
J R東海道新幹線

日本経済を支えてきた東名・名神高速道路とJR東海道新幹線

我が国の「まんなか」に位置し、全国各地への交流可能性が高い中部地方

中部地方からは全国各地へとスムーズに移動することができるので、多くの地域と交流することができます。

中部地方における市町村別一日交流可能人口比率（2000年）



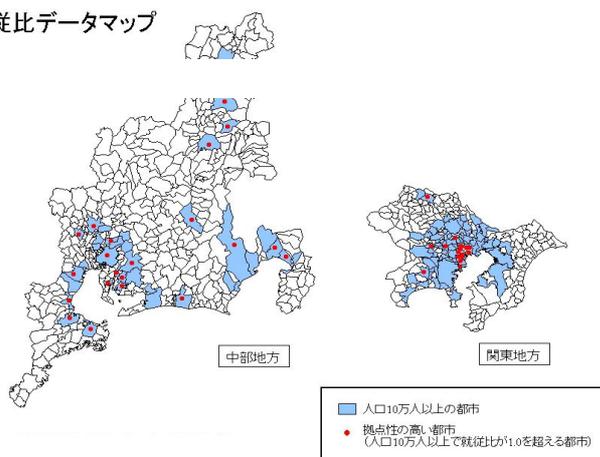
注) 一日交流可能人口比率 = (一日交流可能圏の人口 / 全国人口) × 100
 一日交流可能圏とは、当該市区町村役場から所定時間以内に到達できる市町村がその範囲となる
 出典)「国土交通省総合交通体系データベース (NAVINET)」から作成

分散型の地域が形成されている中部地方

中部地方は、関東地方に比べて人口10万人以上の都市が広い範囲に点在しています。

就従比データマップ

就従比データマップ

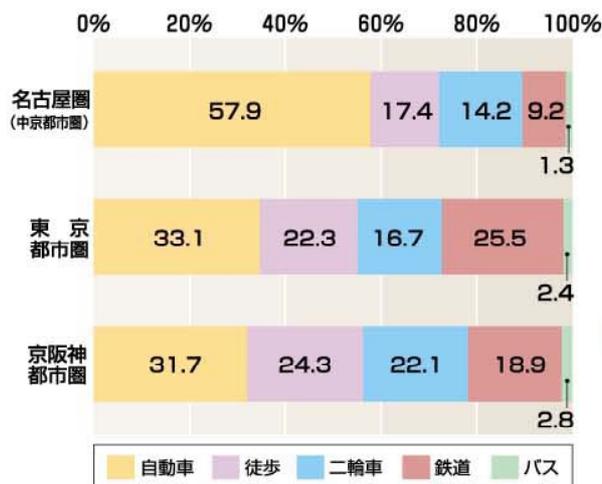


出典) 総務省「平成12年国勢調査報告」

自動車への依存度が高い中部地方

中部地方は、関東地方や近畿地方に比べ、自動車への依存度が高い地域となっています。

三大都市圏の代表交通手段の比較



出典) 名古屋圏 / 平成13年パーソントリップ調査
 東京都市圏 / 平成10年パーソントリップ調査
 京阪神都市圏 / 平成12年パーソントリップ調査